道徳　２年生　学年通信　９月号

平２８②保護者宛第２６号
平成２８年９月２８日
熊谷市立妻沼西中学校

学年の道徳の目標
•時と場に応じた適切な言動と感謝の気持ちを表現できる。
•互いの個性や立場を理解し、思いやりの心を持つ。
•人として向上心を持ち、強い意志で努力できる。

各クラスの道徳　「少年の親切はいくらか」

（主題：感謝する心）

富田先生と長井先生が TT で行った道徳の授業です。道に迷って困った“私”を助けてくれた少年。「くつでも買いなさい。」とお金を渡そうとするが、少年は受け取らなかった。感謝の気持ちを伝えるうえで大切なこととは、何でしょうか。

タイトル：
少年の親切はいくらか

私の考えたこと！！
今日この学習をして、もしも親切をしてもらったら、行動と気持ちと言葉で表そうと思いました。やはり物をもらうよりも気持ちを伝えることが大事だと思うし、言葉で言われると嬉しいから、大人になっても感謝の気持ちを忘れずに生きたいです。

タイトル：
少年の親切はいくらか

私の考えたこと！！
日本人はすごく大切なことを失いかけていることを知りました。心からありがとうを伝えること、相手の気持ちを考えて行動することを大切にしようと思います。

タイトル：
少年の親切はいくらか

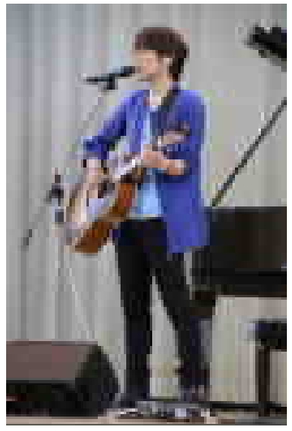
私の考えたこと！！
今日の授業を通して、親切などの気持ちや行動は、物やお金にはかえられないものどとわかりました。だからこれからはしっかりと言葉で感謝の気持ちを伝えたいです。

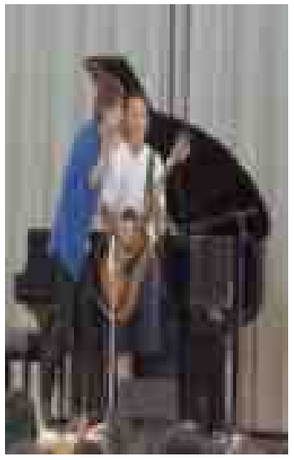
来月の道徳の予定
•伝統で終わることなく伝説に（主題:愛校心）
•伝言板（主題:人間愛•思いやり）
•火影～照明デザイナー石井幹子の挑戦（主題:強い意志）

道徳講演会　大野靖之さんをお招きして

「歌う道徳講師」による学校ライブが、９月９日（金）に行われました。生徒の感想を一部紹介します。ライブ後の感想はそれぞれですが、たくさんの生徒が感動し、前に進む勇気をもらったようです。

・大野さんの歌を聴いてとても感動しました。最近悪いことだらけで嫌になっていたけど、大野さんの歌や話を聞いて元気が出ました！自分が変わろうと思いました。
・すごく楽しい思い出が出来ました。それから、「夢を持って、現実から逃げないこと」「夢は自分を救うこと」「夢は自分を進ませてくれること」が改めてわかりました。
・お母さんに送った歌を聴いて、涙が出てきました。私もお母さんを大事にしようと思いました。
・大野さんの歌と話を聞いて勇気をもらいました。頼まれたことを引き受けて、いろいろな体験をしていく中で自分のやりたいことや夢が見つかることがわかりました。
・「夢」と「愛」があれば何もいらない。という言葉はわかったようなわからないような感じです。これから先、「あのときのことはこういうことか」と思えるときがくるのかなと楽しみになりました。
・自分を支えてくれる人たちに対して「感謝の気持ち」と「愛」を持って過ごしていこうと思いました。
・「頼まれたことには意味がある」という言葉が心に残り、人に頼まれてすぐ断るのではなく、積極的に動いてみようと思いました。





[保護者の皆様へ]　この通信をご覧になっての感想や御家庭での実践の様子をお気軽にお書きください。返信欄はきりとって、お子様を通して担任までご提出ください。

きりとり

（返信欄）